

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0007

住 所 川崎市川崎区駅前本町12番1川崎駅前ターミナルビル10階

氏 名 株式会社ENEOS NUC

代表取締役社長 岩崎 努 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ENEOS NUC		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区浮島町8番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	石油化学系基礎製品製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	51,009	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	照明設備のLED化実施：工場内11台、事務所47台 計58台照明交換 エアコンの更新：8台

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 103,540	(実) 93,606	(実) 86,449	(実) 95,003	(実) 100,434
	(調) 102,776	(調) 93,441	(調) 76,410	(調) 95,003	(調) 99,693
削減率		(実) 9.6 %	(実) 16.5 %	(実) 8.2 %	(実) 3.0 %
		(調) 9.1 %	(調) 25.7 %	(調) 7.6 %	(調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	生産数量				原単位等の単位	t-CO2/千t
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)		
排出量原単位等の値	770.3	926.7	1087	1002	747.2	
活動量の値	134	101	80	95	-	
排出量原単位等の削減率		-20.3 %	-41.1 %	-30.1 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	生産数量が昨年度を下回ったことから、CO2排出量は基準年度比で9.6%減少したが、原単位は20.3%増加した。原単位増加の理由は、エネルギー効率が悪い生産設備での運転時間増加、並びに運転開始数増加による熱エネルギー使用量増加に起因する。				
第2年度	市況影響で生産数量が昨年度を下回ったことから、CO2排出量は基準年度比で16.5%減少したが、原単位は41.1%増加した。原単位増加の理由は、エネルギー効率が悪い生産設備での運転時間増加、並びに運転開始数増加による熱エネルギー使用量増加に起因する。				
第3年度	生産数量は昨年度を上回ったものの、基準年の生産量の7割程度であることから、CO2排出量は基準年度比で約8%減少し、原単位は30.1%増加となった。原単位増加の理由は、市況変化による影響で生産数量が減少する一方で生産設備の運転開始・停止回数が多いため熱電気エネルギー使用量が増加したことに起因する。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		CO2排出量目標値3%削減に対して、生産量の減少および種々の対策実行を行ったことで基準年度比8.2%削減を達成した。CO2排出原単位は、生産量の減少と運転開始・停止回数が高目に推移したため、排出量原単位改善が不十分であった。			
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		削減目標達成に向け電気と熱エネルギー使用状況の管理を定期的実施する。設備の運転条件最適化やスチームロス削減を行う。また更新設備は省エネ性能が高いものを設定することでCO2排出量およびエネルギー原単位削減に務める。			

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

ENEOSグループとして、2027年度までに2013年度比で34-48%CO2排出量削減を掲げており、ENEOS NUCも同調した活動を行う。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) スチームトラップの保守管理 ・不良スチームトラップの交換（配管改造含む）を行い、蒸気ロス削減を図る。 (2) 主要設備等の保安全管理 ・エネルギー使用設備の管理標準の見直しを行う。</p>
<p>第1年度</p>	<p>(1) スチームトラップの保守管理 ・計画通りの交換を実施し、蒸気ロスの削減を行った (2) 主要設備の保安全管理 ・2022年度実施予定だった一次昇圧機（ポンプ）の循環量低減化運転（循環運転）は補修に時間がかかり実施できなかった。2023年度下期より実施予定。 ・設備の運転時間増加、および運転開始操作によるスチームロス増加により原単位が悪化した。 ・エネルギー使用設備の管理標準は見直し中。 (追加実施) ・照明設備のLED化実施：235台の工場内照明、エアコンの更新：15台</p>
<p>第2年度</p>	<p>(1) スチームトラップの保守管理 ・計画通りの交換を実施し、蒸気ロスの削減を行った (2) 主要設備の保安全管理 ・2022年度実施予定だった一次昇圧機（ポンプ）の循環量低減化運転（循環運転）は予備機補修に時間がかかり実施できなかった。2025年度予備機更新計画で電力削減を実施予定。 ・設備の運転時間増加、および運転開始操作によるスチームロス増加により原単位が悪化した。 (追加実施) ・照明設備のLED化実施：工場206台、事務162台の照明、エアコンの更新：7台</p>
<p>第3年度</p>	<p>(1) スチームトラップの保守管理 ・計画通りの交換を実施し、蒸気ロスの削減を行った (2) 主要設備の保安全管理 ・設備の運転時間増加、および運転開始操作による電気、スチームロス増加により原単位が悪化した。 (追加実施) ・照明設備のLED化実施：工場11台、事務所47台、計58台 ・エアコン更新：8台 ・変圧器更新等で購入電力削減実施</p>
<p>計画期間における取組の評価 （第3年度の報告時に記載）</p>	<p>CO2排出量目標値3%に対して、種々の対策を実行したことで8.2%削減を達成した。CO2排出原単位は、生産設備の運転開始・停止回数が高目に推移したため、排出量原単位改善が不十分であった。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	太陽光発電設備は設置敷地に余裕がなく導入見送りとした。また再生可能エネルギー証書購入も検討したが会社都合で見送った。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	設置敷地に余裕がなく導入見送りとした	未定

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 (変圧器更新)	○
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	特になし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	特になし
第2年度	特になし
第3年度	変圧器更新による電気エネルギー削減実施(追加実施)

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	103,540 t-CO ₂	93,606 t-CO ₂	86,449 t-CO ₂	95,003 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	55,667 KL	49,198 KL	45,310 KL	51,009 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎工業所	川崎区浮島町8番1号	103,540	93,606	86,449	95,003

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度